
吐露夢

獅子唐 愛糸

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

吐露夢

【Nコード】

N9623X

【作者名】

獅子唐 愛糸

【あらすじ】

長い、夢を見ているようだ

長い、夢を見ているようだ

生きている、夢を

新しいことが次々と、私の脇をすり抜けてゆく

これは悪くない夢だ

生まれてから眠りにつき

今も人生という夢を見ている

死は、もしかしたらその夢からの目覚めなのかもしれない

もし、そうだとしたら

起きたくない

そう思う私がいるから

私は生きているのだろう

自ら夢を壊すなど滑稽極まりない

どうせなら、目覚めすらも素晴らしいものにしたいではないか

悪くない

悪くない夢だ

沢山の者に出会いたつぷりの言葉と出逢い私は苦悩したり、傷付い

たりしている

成長は止まらず

私の足と鼓動も常に前へ、前へ行く

明日へ逝く

走る時もあるのだろうが、出来ることなら歩むように
吐き出す白い息が消えぬように

瞬間が無残で無惨なものであったとしても、私の眠りは無駄ではな
かったと思えるように

夜は目を閉じ

朝は瞼を開く

移りゆく四季と時を一秒だつて忘れたくない

20、30、40と

十年すらも駆け抜けるようだが

私の今は今であり、また私は私であつたと
記憶が笑わぬこの刹那を夢見たい

冬がくる

17回目の私の冬

きっとこの小さな町には例年の如く雪が降り積もり、景色を銀色に
染め上げてゆく

キャンパスに塗りたくる色絵の具
油の籠もる私のアトリエ

描くのはやはり私の夢だとしても
私は私の夢を美しいと評したい

60秒の時と24時間の毎日と365回の今を抱いて握り
もう実を付けぬ庭の石榴に冷たい露を与え
また冷える朝を迎える

私の夢が夜の間終わるだろうが
少しの時間を経てまた、夢を見始める

この終わらぬ永遠が刹那でも長く続くように

私は夢を愛したい

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n9623x/>

吐露夢

2011年10月27日02時17分発行